



# 東ソー ランチョンセミナー

9月10日(水) **11:45 - 12:45**

**1階 B会場** (中ホール)

## 演題 1

### 新規な塩濃度耐性アニオン交換体を用いた タンパク質の分離精製

イオン交換クロマトグラフィーは、タンパク質の処理量も高く、簡便な操作で高分離能が得られることによりタンパク質分離モードの中で最も汎用性の高い手法である。特に、抗体医薬品の精製では、中間、最終精製工程においてflow-throughあるいはbind-and-eluteモードで使用されているのは周知である。しかしながら、試料中に生理食塩濃度の塩が含まれるとタンパク質はイオン交換体に吸着されないため、試料の脱塩、希釈等の前処理が必要となる。

今回この欠点を改良した塩濃度耐性を有するアニオン交換体TOYOPEARL NH<sub>2</sub>-750Fを商品化しました。ここでは、本充填剤の基本的性質、タンパク質の分離例および抗体の最終精製への応用について紹介する。

## 演題 2

### カチオン交換型ミックスモード充填剤の 基本性能と抗体の分離精製例

近年、Protein A充填剤に代わる安価で取扱いが容易な新しい充填剤として、疑似リガンドを固定化した充填剤やミックスモード型充填剤の開発が盛んに行われている。特に、ミックスモード型充填剤に関しては、capture工程におけるProtein A充填剤の代替利用だけでなく、その後のpolishing工程における抗体凝集体の分離等に関しても、精力的に応用検討が実施されている。

当社も新しい構造を有するミックスモード型充填剤TOYOPEARL MX-Trp-650Mを商品化しました。本製品は、疎水性アミノ酸であるトリプトファンをリガンドとしており、弱カチオン交換基と疎水性基の両方の官能基を有するミックスモード型充填剤である。本セミナーでは、充填剤の基本的な性能、タンパク質の分離及び抗体の精製例について紹介する。



**東ソー株式会社**  
バイオサイエンス事業部

本社 / 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル  
TEL 03-5427-5180 FAX 03-5427-5220

大阪支店 ☎ (06) 6209-1948 名古屋支店 ☎ (052) 211-5730

福岡支店 ☎ (092) 781-0481 仙台支店 ☎ (022) 266-2341

山口営業所 ☎ (0834) 63-9888

<http://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

M1406GX.A